



ゆうすい NEWS No. 59



平成 30 年 2018. 5. 17 発行

題字
大岡 信
(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0856 静岡県三島市広小路町 12-5
TEL&Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/> ※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

平成 30(2018)年度・第 27 回三島ゆうすい会総会開催

平成30年度・第27回三島ゆうすい会総会
平成30年3月3日

今回の総会で、塚田冷子会長は名誉会長になられ、会長のバトンは、大村洋子会長に渡されました。



豊岡武士三島市長



3月3日(土)、Via701で三島ゆうすい会の総会が開催されました。塚田冷子会長の挨拶の後、ご来賓より励ましのご挨拶をいただきました。(ご来賓：豊岡武士三島市長、鈴木文子三島市議会議員、宮沢正美静岡県議会議員、宮崎眞行三島市観光協会専務理事、渡辺義行三島市産業文化部長)

また、細野豪志衆議院議員からのメッセージを、司会の小松幸子副会長が代読して披露しました。



鈴木文子三島市議会議員



宮沢正美静岡県議会議員



宮崎眞行三島市観光協会専務理事



渡辺義行三島市産業文化部長



塚田冷子会長
→名誉会長



大村洋子事務局長
→会長



小松幸子副会長



岩田重理理事



松根典子理事



大庭治美監事



柴原俊介理事



西川勝美理事
→事務局長



青木利治副会長

次に、議長には岩田重理理事が選出され、議事録作成人を平林紘治理事、議事録署名人に大村皖伸理事(→監事)、宇水勉理事が指名されました。第1号議案～第7号議案まで、平成29(2017)年度の事業報告は大村洋子事務局長(→会長)、会計報告は松根典子理事、監査報告は大庭治美監事、会則、役員、組織に関する件は柴原俊介理事、平成30(2018)年度の事業計画は西川勝美事務局長、予算案は松根典子理事が担当し、いずれも承認されました。

平成 30 年度・三島ゆうすい会・役員名簿

名誉会長：塚田冷子
会長：大村洋子
副会長：小松幸子 青木利治 事務局長：西川勝美
理事：小浜修一郎 岩田重理 広川敏雄 水野幾子 柴原俊介
宇水 勉 平林紘治 松根典子 石井真人
監事：大庭治美 大村皖伸 相談役：秋山峰治
運営委員：福場正視 杉橋芳夫 庄司峯子 山梨一正 越沼 正
岡野久代 柴原英子 米山友子 坂井良重 佐藤久美子
顧問：緒明春雄 山岡修一 小野 徹 落合義朗 渡辺妙子
志村 肇 木下秀彰 渡辺豊博
専門家：渡辺佐一郎 石井真人
名誉顧問：富士真奈美(女優) 吉行和子(女優) 藤田弓子(女優)



その後、休憩をはさんで戸田ボランティアガイドの山口展徳さんによる記念講演会(P2参照)が開催され、一般の聴衆も参加しました。講演終了後は、青木利治副会長の司会で恒例の交流会となりました。

記念講演は、演題「緒明家発祥の地・戸田を辿る」、講師は戸田ボランティアガイドの山口展徳（のぶとく）さんで、ご自身製作のヘダ号の模型も展示し、映像を示しながら熱弁されました。「戸田の7人の船大工」が個々に



詳しく紹介されると、聴衆は興味深く聞き

入りました。7人の船大工の1人・緒明嘉吉の息子菊三郎（右写真）は、健気な10歳の頃から親の手伝いをしながら造船技術を学び、緒明家2代目と称されています。菊三郎は、明治5年、永代橋・両国間に「墨田川一銭蒸気汽船」を運行しました。明治16年には、品川沖第四砲台跡に緒明造船所を設立し、西洋型木造小型蒸気船40隻や千トン級大型木造船も建造して日本一となったそうです。また、浦



賀造船所の建造を担当して浦賀 Dock 株式会社の相談役に就任するほか、明治23年以降は海運業に参入し、汽船17隻、帆船数十隻を所有するまでになりました。

やがて、菊三郎は長女に婿主造を迎え、緒明主造（左写真）が緒明家3代目となりました。主造は、静岡県的高等教育にも貢献し、芹沢光治良（後年小説家・代表作『巴里に死す』『人間の運命』）への学資援助もしたそうで、昭和2年には楽寿園を一括購入し、その後、三島市へ譲ったことでも知られています。

講演では、「和船の作り方・構造」「バイキング船」「幕末期における洋式帆船の建造」等も語られました。特に、1853年、幕府による大船建造禁止令解除の影響は大きかったようです。1853年には幕府の「鳳凰丸」、1855年には当時の戸田村で「ヘダ号」が建造されました。

戸田の7人（緒明嘉吉、堤藤吉、石原藤蔵、佐山太郎兵衛、渡辺金右衛門、上田寅吉、鈴木七助）と河津の1人（鈴木長吉）が成しえた大きな活躍が紹介されました。

上田寅吉は、長崎伝習所第1期生としてオランダ人から蒸気船の機械製作の指導を受け、石川島造船所で木造蒸気船軍艦の造船に従事しました。その後、榎本武揚らとオランダに6年間留学し、幕府がオランダに発注した「開陽丸」の造船に立ち会うことになりました。また、横須賀造船所の初代艦長として、軍艦4隻の設計に関わり「日本造船の父」と称されるようになりました。

鈴木長吉は、幕府の命で浦賀奉行に派遣され、「鳳凰丸」の造船に携わりました。また、長崎伝習所第1期生となり、「咸臨丸」の大工を拝命し、勝海舟らと太平洋を往復することになったそうです。

講演は質疑も多々あり、関心の高さが窺えました。



戸田では、「ヘダ号再建プロジェクト」に取り組んでいるそうです。

交流会は、塚田冷子名誉会長、大村洋子会長の挨拶で始まりました。また、乾杯を山岡修一顧問にお願いし、講師ほか各自が恒例の一言スピーチを述べ、歓談しました。

大村会長は挨拶のなかで、昭和39(1964)年、「三島湧水を守る会」が窪田精四郎（小児科医、三島市議会議員）、緒明太郎、塚田静保たちで発足したことや、昭和55(1980)年、「宮さんの川を守る会」が塚田冷子さんと近所の人たちで始まったことにもふれました。前年の昭和54(1979)年、防火用水として、宮さんの川に東レの冷却水を1時間200トン入れてもらうことになったことや、平成3(1992)年、緒明實会長、塚田冷子副会長として「三島ゆうすい会」が発足し、その頃、東レの冷却水は1時間当たり1,500トンになったこと、さらに、平成4(1992)年に緒明實理事長、塚田冷子副理事長で、グラウンドワーク三島がスタートしたことなどにも言及しました。新会長の船出です。



天水尊の効果に注目して、もっと取り組んでみませんか？



乾杯の山岡修一顧問



受付の水野幾子理事

SBS テレビ Sole いいね!の「いいね遺産認定証」が三島ゆうすい会に！



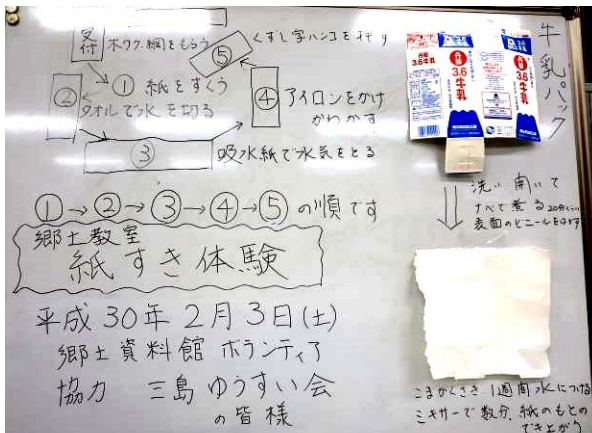
SBS テレビの放映画像より



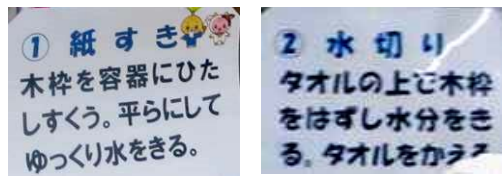
1月7日（日）の七草粥のつどい（一部前日も）に取材を受け、同17日（水）に放映された「Sole いいね!」で、三島ゆうすい会は、栄えある「いいね遺産認定証」を受け取りました。総会の交流会でも「三島の清流を守り続けたい」と、披露されました。

三島市郷土資料館の「郷土教室・紙すき体験」に協力

2月3日(土)10:00~15:30、郷土資料館で紙すき体験があり、三島ゆうすい会が協力しました。郷土資料館のボランティアの会場への呼び込み効果もあり、多くの親子連れや佐野美術館を訪れる刀剣女子たち約100人が参加し、笑顔で満足気に出来立ての作品を持ち帰る姿が見られました。



▲準備にも気持ちがいこもり、力が入ったようでした。



▲すいた和紙に、押し葉を挟むことにも挑戦しています。

本番の2月3日に都合が付かないという青木利治副会長や柴原俊介理事、水野幾子理事も、リハーサルには参加し、郷土資料館のボランティアの方々と作業を続けました。自分の作品が完成すると、誰もが満面の笑み。紙すきの魅力なのでしょう。



▲本番での完成時の笑顔



③ 吸水紙
網をはずし、吸水紙にはさみ水気をとる。紙を換える。

④ アイロンかけ
力をいれてアイロンをかけ、乾燥させると、出来上がり。

⑤ 判を押してみる
くずし字ハンコで文字をつくり、葉書に押してみる。

各コーナーに作業手順を表示し、体験しやすくしてありました。



▲和紙ができたら、興味津々の「くずし字」と手作り印字体験



▼リハーサルでの完成時の笑顔



ピコピカの整備

宮さんの川上流部に設置されている「小水力発電・ピコピカ」は、鈴木敏光さんや羽田光明さんが随時整備してくださっており、三島ゆうすい会一同感謝しています。



日本経済新聞(玉利伸吾記者)の取材に対応

3月29日(木)14:00に取材を受け、塚田冷子名誉会長と大村洋子会長が対応し、記事は4月7日(土)の夕刊に掲載されました。

「文学周遊」というタイトルの記事で、詩人・大岡信さんの18歳の時の作品「水底吹笛(すいていすいてき)」等、水にまつわるものでした。塚田冷子名誉会長は、川はかなりよくなったので、毎日、掃除を欠かさず、水の大切さを伝えたいと述べています。



大岡信さんの足跡をたどる「水辺散策と詩の鑑賞会」

日 時：第1回 6月16日（土）9：30～12：00 三島田町編（三島田町駅集合）
第2回 7月 7日（土）9：30～12：00 大社・東海道編（三島商工会議所集合）

定 員：各回、20名（定員になり次第、キャンセル待ち）

参加費：各回、200円（保険料、資料代）

詳細はチラシ参照！

講 師：福田淑子さん（三島市郷土資料館）

中村童子さん・奈良本真紀さん（元大岡信ことば館）

受 付：青木利治・三島ゆうすい会副会長

電話 090-5864-4833

水の苑緑地を流れる源兵衛川

募 集



詩人・大岡信さん
三島ゆうすい会
元名誉顧問

雨水浸透枡・雨水貯留槽の設置は、いかが？ 同封資料、ご参照のこと！



雨水を活用する環境にやさしい暮らしは、2030年まで継続される「クール・チョイス」（地球温暖化対策の新国民運動）の観点から見直されています。

三島市は、雨水浸透・貯留施設に設置補助金制度を実施しています。雨水浸透枡は、屋根に降った雨水を大地に効率よく浸透させるもので、地下水涵養と浸水防止に役立ちます。雨水貯留施設は、屋根に降った雨水を雨どいから貯めて、庭木や花への散水、防火用水に有効活用できる施設で、上水道を節約し地下水を守ることにもなります。

雨水浸透枡の設置について、平成4年度から平成29年度までの合計設置申請は523件、合計設置個数は678件、補助金交付金総額は34,757,960円だそうです。

「三島ゆうすい会は設立の頃、水の先進地・熊本県（当時は細川護熙知事）へ視察に行き、雨水浸透枡を30基も購入してきた」と、秋山峰治相談役の談話として、『三島ゆうすい会10周年記念誌』に掲載されています。またそれが、三島市の雨水浸透枡等への補助金制度にもつながっているようで、「三島ゆうすい会」の先人たちの先見性に感服します。

三島ゆうすい会のホームページ

「三島ゆうすい会」のホームページは随時更新中です。
「ゆうすいNEWS」もカラー版で見ることができ、以前のホームページも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

URL：<http://www.yusui.org/>



毎週土日に塚田冷子さんと松根典子さんは、源兵衛川の清掃を続けています。



毎月第1土曜日に石井真人さんは、桜川の清掃を続けています。



毎月第2日曜日に宇水勉さんは、三島梅花藻の里で保全活動を続けています。

定例活動のお知らせ

- ★自由参加
- ★雨天時は休み



宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」と共に、清掃します。

「三島梅花藻の里」で ミシマバイカモ保全活動

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」と共に、清掃します。



源兵衛川の第2、第3ゾーンと 宮さんの川から、ヒロセパーク までの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から 広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則 毎月第1土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」と共に、清掃します。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ★正会費 3,000円
- ★賛助会費1口 10,000円（何口でも可）

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 0840-4-118192
加入者名：三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
普通預金 No.0346532
口座名：三島ゆうすい会
会長 大村洋子
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
普通預金 No.572969
口座名：三島ゆうすい会
会長 大村洋子
- ・三島信用金庫西支店
普通預金 No.1042399
口座名：三島ゆうすい会
会長 大村洋子